

宝塚・天神川を武庫川まで歩く

第 85 回武庫川エコハイク

20140510 エコグループ・武庫川

武庫川 全長 65km、流域面積 500km²、篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川である。「武庫川」の名は下流の蓬川の東側が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門(むこみなと)」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。本川の源流は篠山市にある。篠山市から三田盆地までは緩やかな傾斜であるが、道場を過ぎると武庫川渓谷の急流となる。武庫川下流の治水対策として武庫川渓谷に治水ダムが計画されたが、県は武庫川流域委員会を設置して 2 年半にわたり協議した結果、平成 22(2010)年 10 月、20 年間はダムによらず流域対策と堤防強化、河道掘削で治水対策を実施することとなった。

天神川 中山最高峰南に流れる武庫川支流の 2 級河川。宝塚市、伊丹市の市街地を流れて天王寺川に合流し武庫川に合流する。かつては昆陽池を経て玉田川として流れ天王寺川とは別個の川だったが河川改修により天王寺川と合流した。

中山五月台住宅 昭和 40 年代に中山最高峰南斜面に西の中山桜台とともに開発された大規模住宅地。阪神平野から眺めると長尾山系の稜線まで住宅が迫っている。

兵庫県水道受水槽 猪名川水系の県営多田浄水場からの県営水道を受水している。

中筋のしだれ桜跡 巡礼街道と交わるところにインドウ桜呼ばれる八重紅枝垂があった。

巡礼街道 西国三十三観音札所の巡礼街道。第 23 番勝尾寺(箕面市)と第 24 番中山寺につながる。

中筋 天神川と天王寺川に囲まれた地区で南を横断する有馬街道から北の谷を抜け北の山間部につながる道から中筋と呼ばれる。また山本郷と米谷郷との間の中村との説もある。

山本 天神川の東側。地名は長尾山系の麓にあるからといわれる。

伊丹台地と植木産地 このあたりから南伊丹市東野にかけて伊丹台地と呼ばれる台地が広がっている。太古の時代に淀川(猪名川)と武庫川から運ばれた土砂がこの地区に堆積したものと考えられる。地味が豊かなことから植木の産地となった。埼玉県川口市安行、愛知県稲沢市の 3 箇所を 3 大植木産地としている。福岡県久留米市田丸丸を入れ 4 大産地ともいう。

天満神社 天満神社は坂上田村麻呂を祀る坂上家の氏神松尾神社のお旅所であった。ある時松尾神社の藁神輿を作りお旅所に移動中流されて尼崎に至り、茨にかかって揚げられなくなったとき神事を尽くしてこれを揚げたという故事に因み、それを踏まえて神輿によるお旅行事として「トントコ祭り」が行われている。

福知山線の第 1 トンネル 天井川であった天神川を旧福知山線はトンネルで通過した。旧線は現在高架の北側の側道。

伊丹市立荒牧バラ公園 伊丹市荒牧土地区画整理事業で用地を確保し平成元年から 3 ヶ年をかけて整備した近隣公園。開園は平成 4(1992)年。面積 1.7ha。

伊丹の水とみどりの散策道(天神川コース) 伊丹市には「水とみどりの散策道」が 10 個設けられている。荒牧バラ公園から昆陽池公園までの河岸道路は水とみどりの散策道として整備された。

荒牧 昔聖徳太子がこの地を通られ樹齢数百年の柳の木から十一面観世音菩薩の像を刻まれ、容住寺に祀られたと言う。その後周囲の地を開拓され種を撒かれたという「新蒔」から。

鴻池 天神川と天王寺川に囲まれた地域。鴻(水鳥、ヒシクイナ?)の住む池からとか、昔国府の話があったことからとかの説がある。

瑞ヶ池(ずがいけ) 奈良時代に築造された大鹿村のため池。主ヶ池から瑞ヶ池となった。現在は伊丹市の上水道源。

伊丹スポーツセンター 昭和 48(1973)年開設の総合スポーツ施設、体育館、屋内プール、野球場、陸上競技場、テニスコートがある。

昆陽池と兵庫県昆陽池公園

天平年間(8 世紀半ば)僧行基が開いたといわれるため池。窪地となっていたこの地に上池、下池を作ったが、後に下池は埋め立てられて農地となった。上池は現在県立昆陽池公園、伊丹市上水道の貯水池として利用されている。県立公園は野鳥の探鳥会のメッカでもある。

伊丹市昆虫館 平成 2(1990)年伊丹市制 50 周年を記念して開館。南方産で日本最大の蝶オオゴマダラなど 14 種の蝶が温室内で飼育されている。

天王寺川 中山寺の足洗川、勅使川を源流とする川。途中天神川が合流する。

伊丹の水とみどりの散策道(天王寺川コース) 天王寺コースは大樋橋東の十六名公園を起点として阪急稲野駅までの「有馬古道コース」の一部。

伊丹市老人福祉センター サンシティーホール 高齢者をはじめとする伊丹市民の文化、教養、福祉の向上を図るため市立老人福祉センターとして平成 2(1990)年に建設された。

尼宝線 武庫川左岸の南北交通を旨として尼崎と宝塚を結ぶ鉄道が大正年間に計画されたが途中で自動車専用道路に変更され、昭和 7(1932)年尼崎市西大島と宝塚歌劇場前との間役 10km が開通した。この道路はバス専用とし一般車両は有料という関西初の自動車専用有料道路となった。有料道路は昭和 17 年まででその後は県道に編入された。

十六名(じゅうろくな)公園 西野の地名十六名。十六名はこの地区の開拓が 16 人の人が開拓したということから付けられた地名。現在は伊丹市の防災公園のひとつ。

大樋橋(おおひし) 天王寺川に架かる橋。昆陽井川が川の下をサイボンで立体交差する。天神橋の改修までは木樋が天神川を横断していた。

昆陽井川(こやゆがわ) 昔から農業用水を井(ゆ)と呼んでいる。武庫川左岸宝塚市クリーンセンター横の昆陽井堰から取水している。伊丹西部地区の農業用水、伊丹市の上水水源の一つ。

昆陽下池の跡 昆陽池陥没帯 かつて昆陽池の下に昆陽下池があったと伝えられる。この地区は昆陽池、下池と連なる 2 本の断層「昆陽池陥没帯」に挟まれ陥没地続いていた。

六樋取水堰 伊丹市西部、尼崎市西半分の農業用水を武庫川の伏流水から行っている。天王寺川の下をくぐり、武庫川に沿って用水路が分かれる。かつてあった野間樋、生島樋、武庫樋(以上西昆陽村)、水堂樋(常松村)、守部樋(常吉村)、大島樋(西武庫村)の 6 個の取水樋があったが、大正年間の武庫川改修に伴い 6 樋が合併し昭和 3(1928)年六樋が設立された。仁川合流点下流にある。